

事 務 連 絡
平 成 2 6 年 1 2 月 8 日

独立行政法人日本原子力研究開発機構 御中

文 部 科 学 省
研究開発局原子力課

国際原子力人材育成イニシアティブ事業 事後評価結果について

貴機関において実施された「国際原子力人材育成イニシアティブ事業」に係る事後評価結果を、以下のとおり通知いたします。評価基準等については、別に定める「国際原子力人材育成イニシアティブ事業 事後評価について」を御参照願います。

課題名	放射性物質・放射線取扱への正しい理解を持った若手教育者の育成
実施機関	独立行政法人日本原子力研究開発機構
実施期間	平成23年度～平成25年度

【評価結果】

A	計画以上の優れた成果があげられた
---	------------------

【審査評価委員会所見】

＜推奨意見＞

●若手教育者の育成という重要かつ困難な課題を設定した上で、実習及びフォローアップ研修（小中学校での教育実習）の教育プログラムを充実させて、研修生の学習効果を高めることができた点が高く評価できる。また、研修生の声を積極的に取り入れて、テキストの改善やFAQ への反映等、柔軟に教育プログラムの改善に対応できた点も高く評価できる。今後も事業を継続し、茨城県外への更なる広がりを期待する。

●研修用のテキストを作成するとともに、本事業で得られた成果をホームページや学会、プレスを通じて積極的に発信し、結果として多くの教育委員会関係者や報道関係者の関心を集めることができた点が評価できる。今後も、作成したテキストを有効に活用していただくとともに、他の機関が作成した既存資料の活用についても検討し、事業の更なる改善を期待する。

＜今後への参考意見＞

●若手教育者の育成という課題を達成するために、研修の趣旨や対象者を募集要項で明確にする等の見直しを行い、教員養成課程の学生及び現役教員へのアプローチ方法を更に改善していただきたい。また、児童生徒らへ正しい理解を促すという観点から、現役教員のみならず PTA 等のチャンネルを利用し、保護者を参加対象とすることについても検討していただきたい。

●参加者からのアンケート結果等を考慮し、その時々参加者の興味関心に応じた研修内容となるよう工夫していただきたい。また、研修内容に「放射性物質・放射線取扱いの安全」及び「放射線の利用」の両方の内容がバランスよく含まれることを期待する。